

学校案内



しあわせ信州
一人ひとりの
学びたいを叶える

NAGANO PREFECTURE SCHOOL OF PUBLIC HEALTH

 長野県公衆衛生専門学校 2025

歯科衛生士学科





教育方針

教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤にし、自学、自修、自治の精神を育み、豊かな人間性を養う。
保健医療従事者として基礎的な知識・技術を持ち、人々の健康に貢献する歯科衛生士を養成する。

教育目的

歯科衛生士法に基づく必要な知識・技術を教授し、口腔衛生の向上に寄与する有能な歯科衛生士を養成する。

教育目標

- (1) 人を愛する心を持ち、口腔の健康をとおして人の健康を考える能力を養う。
- (2) 人間を幅広く理解し、よりよい人間関係が築けるコミュニケーション能力を養う。
- (3) 歯科予防処置、歯科診療の補助及び歯科保健指導の知識・技術を習得し、総合的な実践をとおして、科学的・論理的に考え、問題解決ができる能力を養う。
- (4) 社会の動き、環境の変化に即応し、常に主体的に学習し続ける能力を養う。
- (5) 保健医療従事者の一員として協調・協働できる能力を養う。

歯科衛生士の仕事



歯科衛生士は歯・口腔の健康をととして
人々の健康をサポートするスペシャリストです。

高齢になっても元気な人は、歯や口腔の健康な人が多く、全身の健康に口の健康が関わっていることも明らかになってきました。「生涯自分の歯でおいしく食べる」「楽しく会話をする」ために歯や口腔の健康が欠かせません。そのためには、乳幼児期からのむし歯予防や、成人の約8割が罹患しているといわれる歯周病を予防することが重要です。

人の一生のそれぞれの場面で、健康づくりのサポートを行う国家資格の専門職が歯科衛生士です。

■ 歯科衛生士の主な仕事



歯科予防処置



歯科保健指導



歯科診療補助



口腔ケア(病院・高齢者施設・在宅)

診療室で歯科医師とともに処置を行うばかりでなく、障害者や高齢者の口腔管理を担うスペシャリストとして、質の高い口腔ケアの提供や、口腔機能維持のための訓練等、歯科衛生士の活躍の場は広がってきています。

■ 歯科衛生士の活躍の場

総合病院、大学附属病院、歯科診療所、市町村、保健所、介護老人保健施設、事業所、歯科衛生士学校または養成所等

学校紹介

修業年限、定員、授業料

学 科	修業年限	定 員	授業料
歯科衛生士学科	3 年	60人(1学年定員20人)	166,800円(年額)

※日本学生支援機構 給付奨学金、貸与奨学金対象校
※授業料減免制度あり

卒業後の資格

- ア 歯科衛生士国家試験の受験資格が得られる。
- イ 専門士(医療専門課程)の称号が得られる。

授業時間割

時 限	時 間
ホームルーム	8:50 ~ 9:00
1 時限	9:00 ~ 10:30
2 時限	10:40 ~ 12:10
(昼休み)	12:10 ~ 13:00
3 時限	13:00 ~ 14:30
4 時限	14:40 ~ 16:10



実習室

国家試験の状況(合格率)

年 度	2	3	4	5	6
全 国	93.3	95.6	93.0	92.4	91.0
本 校	100	100	94.4	100	90.9

(%)

卒業生の就職状況

年度	卒業 学生数	求人状況(求人数)			就職状況(人)			
		県内	県外	計	県内			県外
					病院	診療所	行政	診療所
3	20	119	542	661	0	19	0	1
4	18	126	659	785	0	16	0	2
5	18	120	582	702	2	14	0	2
6	11	113	555	668	2	8	1	0

歯科衛生士学科
卒業生数
1,793人

入学生の状況 出身地域別入学状況

年度	上伊那	飯伊	諏訪	中信	北信	東信	県外	合計
4	8	4	4	3	0	1	0	20
5	9	1	3	2	1	0	1	17
6	15	3	1	0	1	0	0	20
7	3	2	3	0	0	0	0	8

※長野県は「歯科口腔保健推進条例」を制定し、歯科口腔に関する保健医療サービスに携わる者の確保及び資質の向上に取り組んでいます。



出身校(大学卒業の学生についても出身高校を記載しています)

※県内のみ

長野西高校、中野西高校、丸子修学館高校、富士見高校、諏訪実業高校、諏訪二葉高校、下諏訪向陽高校
岡谷東高校、岡谷南高校、東海大諏訪高校、辰野高校、箕輪進修高校、上伊那農業高校、伊那北高校
伊那弥生ヶ丘高校、高遠高校、赤穂高校、伊那西高校、松川高校、飯田風越高校、飯田OIDE長姫高校
阿智高校、飯田女子高校、木曽青峰高校、豊科高校、南安曇農業高校 等

教育内容

■ 授業科目

基 礎 分 野	心理学、倫理学、日本語表現法、社会学、生物学、化学 英語 I・II、音楽、健康とスポーツ
専門基礎分野	解剖学、組織発生学、生理学、生化学、口腔解剖学、歯牙解剖学 口腔生理学、口腔生化学、病理学、口腔病理学 微生物学、口腔微生物学、薬理学、栄養学、口腔衛生学 I・II 衛生・公衆衛生学、統計学、衛生行政、社会福祉、基礎医学
専 門 分 野	歯科衛生士概論、歯科臨床概論、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学 歯科補綴学、歯科矯正学、口腔外科学・麻酔学、小児歯科学 障害者歯科学、高齢者歯科学、歯科放射線学 歯科予防処置論、歯科保健指導論、歯科診療補助論、口腔保健管理法 I・II 栄養指導法、歯科材料学、看護学、臨床検査 摂食嚥下リハビリ法
選択必修分野	高齢者学、コミュニケーション論、カウンセリング 情報科学 I・II、経営マネジメント、研究
臨床・臨地実習 (実習施設)	歯科大学附属病院、医学部附属病院、地域医療支援病院、歯科診療所 保育園、小学校、養護学校、高齢者施設、保健センター 等61施設

■ 教 員

非常勤講師約54名（信州大学、長野県看護大学、飯田短期大学、伊那中央病院、長野県歯科医師会会員ほか）
専任教員（歯科衛生士）4名、演習・校内実習等指導歯科衛生士11名

学校の沿革

■ 沿 革

- 昭和44年 4 月 長野県公衆衛生専門学院伊那分院歯科衛生士学科として伊那市室町に開設、
歯科衛生士の養成を開始
(昭和44年 3 月31日厚生省収医第157号指定)
- 昭和52年 8 月 伊那分院、伊那市上荒井へ移転
- 昭和55年 4 月 学校教育法に基づく公立専修学校専門課程の設置が許可される。
名称を長野県公衆衛生専門学校伊那分校と変更
(長野県教育委員会指令54教高第566号)
- 昭和56年 2 月 伊那市上荒井の新校舎へ移転
(昭和56年 4 月 1 日厚生省収医第36号指定)
- 昭和63年 4 月 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に伴い修業年限 2 年となる。
名称を長野県公衆衛生専門学校伊那校と変更
- 平成21年 4 月 長野校閉校に伴い伊那校が「長野県公衆衛生専門学校」となる。
- 平成22年 4 月 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に伴い修業年限 3 年となる。
- 平成23年 3 月 歯科衛生士学科 2 年制課程の養成終了
- 令和元年 8 月 創立50周年記念式典挙行

CampusLife

キャンパスライフ

1 年生



歯牙解剖学 歯型彫刻



校外研修



歯科保健指導基礎 補助用具使用法



歯科診療補助I共同動作



入学式



解剖学 講義



生物学 グループワーク



明海大学 特別講義



栄養指導 調理実習



歯科保健指導II2-1実習



校外研修

2 年生



生物学 野外調査



校外研修 日本歯科衛生学会



模擬患者実習 歯科衛生士直接指導



保育園歯科保健指導実習

3年生



小学校 歯科保健指導実習



口腔保健管理法PMTTC実習



卒業式

縦割り実習



後輩実習



2-1実習

自治会



交流会



3-1実習



交流会



交流会

先輩からのメッセージ

1年生に
質問しました。

Q1.

歯科衛生士になろうと思った
きっかけは？

口の健康が全身と関わっているから、
多くの人の健康を守る

歯みがき指導を受けて興味を持った

歯科医院でアルバイトをして懂れた

歯科医院での治療が怖かった
時に、優しく接してもらった



上伊那出身

下伊那出身

諏訪出身

Q2.

公衆衛生専門学校を選んだ
決め手は？

少人数制の教育

先輩が優しい

最新の設備

アットホームな雰囲気

学ぶ環境が整っている

手厚い技術指導

様々な実習地

先生の雰囲気

2年生に
質問しました。

Q3.

授業は難しい？

歯科衛生士になりたい気持ちがあれば大丈夫

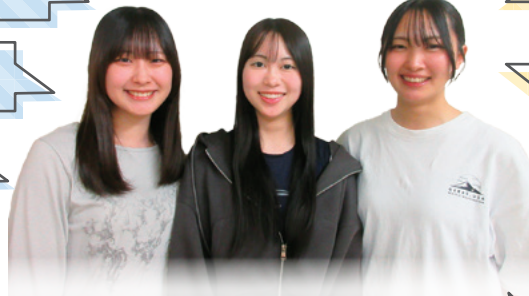
先生が質問に丁寧に答えてくれるから大丈夫

実践的な授業も多いから楽しい

クラスの人々と教え合えるから大丈夫

先輩にも聞きながら学んでいる

みんなスタートは一緒だから文系理系
関係なく歯科衛生士を目指す



上伊那出身

下伊那出身

上伊那出身

Q4.

この学校の特徴は？

学年関係なく仲が良い

先生と距離が近いから質問や相談がしやすい

環境が良い

実習でわからない時にすぐに教えてくれる

臨床で活躍している歯科衛生士の指導が
受けられる

先輩が授業や実習のアドバイスをくれる

3年生に
質問しました。

Q5.

学校外の実習は？

たくさん経験できて成長できる

歯科医院以外にも色々な実習地に行けるので楽しい

臨機応変に動けるようになる

専門性の高い歯科衛生士業務を
経験できる



伊那出身(社会人経験者)

中信出身

諏訪出身

Q6.

就職活動は？

学校での学びを活かして就活できる

自分のやりたいことに挑戦できる

求人倍率が高い!

行きたいところを選べる

先生が相談にのってくれる

実習地が多いから将来進みたい分野を考えられる

卒業生からのメッセージ



暮沼 ちかほさん
(令和7年卒業)

飯田市役所保健課 勤務

私は歯科衛生士に向けて3年間学んできた中で、多くの方々に歯科に関心を持ってもらい、歯科と全身のかかわりを知ってもらうきっかけを作れるような歯科衛生士になりたいと思うようになりました。それができるのが歯科保健指導なのではないかと考え、行政歯科衛生士を目指すことにしました。

市役所では、乳幼児健診での集団指導や歯科健診の案内など、様々な方々に関わりながら歯科事業を行っています。また、保健師さんや栄養士さんなどの他職種とも関わりながら仕事をしています。

現在、私は先輩歯科衛生士の集団保健指導や個別指導を見学しつつ、少しでも早く1人でできるように日々勉強しています。まだまだ分からないことばかりで不安もありますが、学ぶ姿勢や多くの方々とコミュニケーションを忘れずに理想とする歯科衛生士に近づけるよう頑張りたいです。

長野県公衆衛生専門学校での多くの実習や学習から、歯科衛生士として働く道の幅広さを知ることができました。そして、3年間の学びから得た知識・技術を今後の仕事に十分に活かしていきたいと思っています。

北アルプス医療センターあづみ病院 歯科口腔外科 勤務



岩崎 純子さん
(平成23年卒業)

北アルプス医療センターあづみ病院は池田町にある総合病院です。

当院は地域の歯科医院との連携を密にし、二次救急医療機関として紹介をいただいた患者さんの親知らずの抜歯をはじめとし、腫瘍、嚢胞の摘出、インプラントなどの口腔外科的治療、静脈内鎮静

法や全身麻酔での手術も行っています。また、持病がある患者さんも多く、服用しているお薬の内容や全身状態にも目を向ける必要があります。

仕事内容としては、外科処置の歯科診療補助、周術期口腔機能管理、入院患者さんの口腔ケアが主となりますが、他職種に向けた勉強会の講師なども行うことがあります。またNSTや医療安全、がんなどの委員会にも所属し、医師、看護師、薬剤師など多職種との連携も大切にしています。

口腔内の状況が悪い患者さんが、口腔ケアを通じて徐々にQOLを向上させていく様子を見ることは、私にとって大きなやりがいです。

当院は働く環境も整っており、有休はもちろんのこと、育休や産休を経て復帰する先輩歯科衛生士も多く、仕事とプライベートの両立も可能です。この仕事は、ライフワークとして長く続けていきたいと思うほど、意義深く魅力のあるものだと感じています。

鴨居歯科医院 勤務



天野 小雪さん
(平成31年卒業)

私は塩尻市の鴨居歯科医院に勤務し、7年目になりました。当院では予防歯科に力をいれており、長野県で唯一のトータルヘルスプログラム（THP）を導入しています。その他一般診療以外にもインプラント、矯正など幅広い分野の診療を行っています。

「世界一笑顔とありがとうが溢れる上質な歯科医院」、「すべては患者さんのために」をモットーに、日々患者さんのメンテナンスを担当しています。歯科衛生士としての技術・知識面の向上はもちろんですが、歯科衛生士である前にひとりの人間としてどうあるべきか、そんな学びの場も与えてくれる環境に感謝しています。

歯科衛生士は口腔内の健康を通して全身の健康に関わることで、患者さんが豊かで幸せな生活を送るお手伝いができる、素晴らしい職業です。患者さんの口腔内の環境を自分の手で治すことができ、よくなった環境を、患者さんと協力して維持することができます。それは患者さんとコミュニケーションを取りながら一緒に歩む、ということです。

多くの人を幸せにできる歯科衛生士になって良かったと思います。



有賀 希々花さん 有賀 萌那さん
(令和5年卒業) (令和5年卒業)

竜東歯科医院 勤務

私達は、伊那市の竜東歯科医院に勤めて3年目になります。現医院は令和4年に旧医院の倍ほどの広さに建て直され、診療内容の幅も一般的な歯科治療に加え、小児歯科・マウスピース矯正・インプラント治療・ホワイトニングなど幅広く行っています。この環境でより専門的な知識や技術を得たいと思い就職しました。

最初は覚えることに精一杯で、自分から積極的に動くことが難しく、指示内容を時間通りにこなすことも大変でした。しかし徐々にできることが増え、自分の知識や技術に自信が付き、と、「歯科衛生士」という専門職として、患者さんに堂々と接することができるようになりました。

患者さんの口腔内はひとつとして同じではありません。故に、常に歯科医療についての情報をアップデートし、最新の情報を患者さんに伝えることが、専門職である私達の務めであると考えています。

現在の私達はまだまだ学ぶことばかりで、職場の先輩方にアドバイスを頂く場面も数多くあります。それでも私達は今後も「歯科衛生士」という職業に誇りを持って、日々自分自身をアップデートしながら患者さんと関わっていきたくと思っています。

在校生からのメッセージ



3年
池上 悠月さん

私は将来、国家資格を取得し、やりがいのある仕事に就きたいと考えていました。そんな中、小さい頃にむし歯治療が怖くて泣いていた私に、優しく声をかけてくれた歯科衛生士さんの姿を思い出し、私も患者さんと同じ目線に立ち、寄り添うことが出来る歯科衛生士になりたいと思い、この学校に進学しました。

長野県公衆衛生専門学校は1学年20人の少人数制で、先生方が親身になってサポートして下さり、安心して学ぶことが出来ます。学生同士はもちろん、学年間のつながりも強く、わからないことや不安なことがあれば先輩方に相談できる環境も魅力です。

また、歯科診療所や病院のほか、保育園や小学校、養護学校、高齢者施設など様々な実習施設があり、幅広い年齢層と関わることで多職種連携についても学べます。

実習を通じて得た知識や技術は、就職後にも必ず活かせると感じています。

基礎知識を学んだ上で、様々な場所へ実習に行き、多くの知識や技術を身につけることが出来る公衆衛生専門学校での学びを通して、歯科衛生士という自分の夢に着実に近づけていると実感しています。



長野県公衆衛生専門学校

問い合わせ先

〒396-0025 長野県伊那市荒井4347-1

電話 0265-72-4730 FAX 0265-76-9922

E-mail koshueisei@pref.nagano.lg.jp

<https://www.pref.nagano.lg.jp/koshueisei/>